



ORCID Public APIの申請

このガイドでは、日本のScholarOne Manuscripts (S1M) ユーザーである学協会様がORCID Public APIを申請・登録するための手順についてご説明します。

本件についてのお問い合わせは、以下までお知らせください。

s1-support@kyorin.co.jp

目次



S1MとORCIDの連携	・ ・ ・ 3
ORCIDアカウントの取得	・ ・ ・ 5
Public API申請画面への移動	・ ・ ・ 6
Public API申請フォームの記入	・ ・ ・ 8
申請事項の確認	・ ・ ・ 10
よくある問い合わせ	・ ・ ・ 11

S1MとORCIDの連携（1）

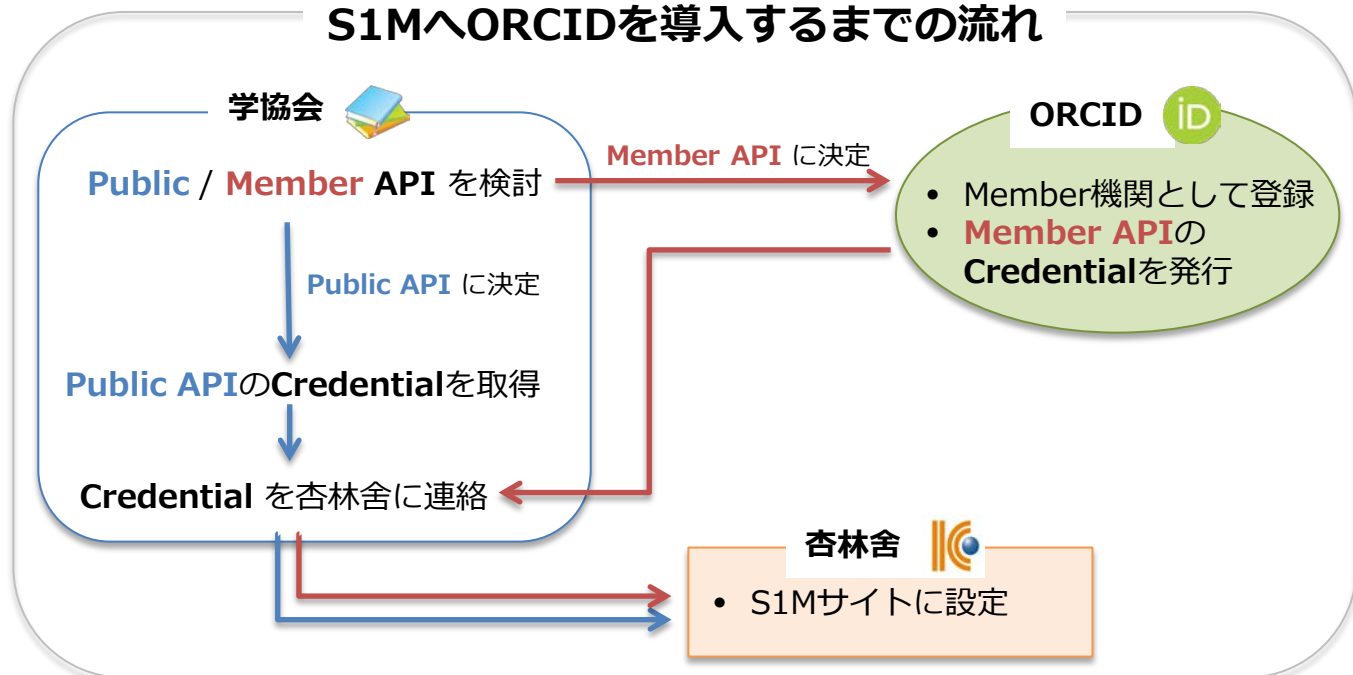
S1MサイトでORCIDを利用されている、もしくは利用をご検討中の学協会様が、今後ご使用いただくには **Credential** を取得し、S1Mサイトに設定する必要があります。

※ ご利用中の学協会様が継続してご利用頂くためには、2016年5月31日までに取得して頂く必要があります。

- **Credential**とはシステム間を繋ぐアクセスキーです。
“Client ID”、“Client secret”の二つからなります。
- **Credential**を取得するには「**Public API**」か「**Member API**」のどちらかを選択し、ご利用手続きを行って下さい。
 - **Public API**：無料で利用できます。個人のORCID アカун トから申請を行うため、担当者が変わるたびに手続が必要となり、また電子許諾がクリアされるとのことです。
 - **Member API**：組織としてORCIDメンバー機関になると利用が可能となります（年会費が発生します）。より高いレベルでORCID レジストリとの連携が可能となります。

S1MとORCIDの連携（2）

S1MへORCIDを導入するまでの流れ



※ 本マニュアルでは Public API のご利用手続きをご案内しています。

Member API をご検討されている場合は、以下のウェブフォームをご確認頂き、ORCID 宮入様にお問い合わせください。

ORCID Memberについて：

<http://orcid.org/about/membership/new>

ORCID 宮入様： n.miyairi@orcid.org

ORCIDアカウントの取得

- ORCID Public APIの利用を申請するためには、ORCIDのアカウントが必要です。
 - ORCIDアカウントは、個人に対して発行されます。ORCID Public APIの申請は必ず、ジャーナルの編集担当者、学会事務担当者など、APIの利用について連絡がとれる方のORCIDアカウントより申請を行ってください。
- ORCIDアカウントをお持ちでない方は、<https://orcid.org/register> より以下の手順で新規アカウントの登録を行ってください。
 - 1. 「①REGISTER」の文中にある“Register now！”をクリックします。
 - 2. 個人情報の入力画面にお名前とE-Mailアドレスを入力し、パスワードを設定します。
 - 3. 情報の公開レベルを「一般公開」「限定公開」「非公開」から選択します。
 - 4. 「CAPTCHA」とプライバシーポリシーへの同意を行い、“Register”をクリックして完了です。
- すでにORCIDアカウントを取得されている方は、<https://orcid.org/signin> よりログインしてください。

Search

ORCID
Connecting Research and Researchers

FOR RESEARCHERS FOR ORGANIZATIONS ABOUT HELP SIGN IN

SIGN IN REGISTER FOR AN ORCID ID LEARN MORE

1,870,317 ORCID IDs and counting. [See more...](#)

Email or iD

Password

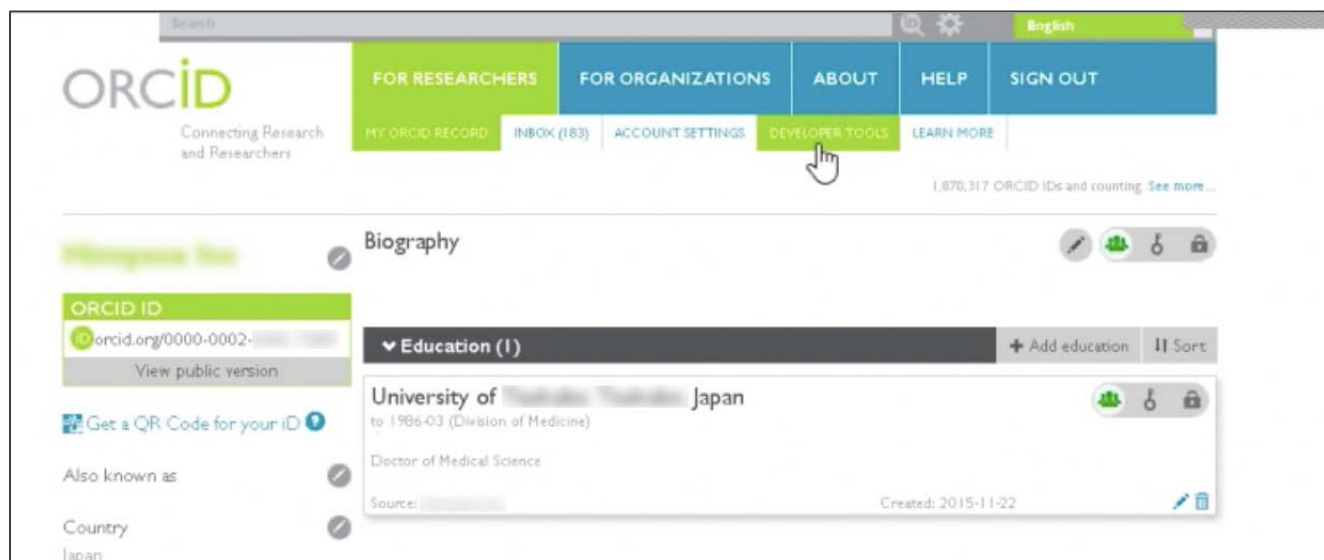
Sign in

[Forgotten password?](#)

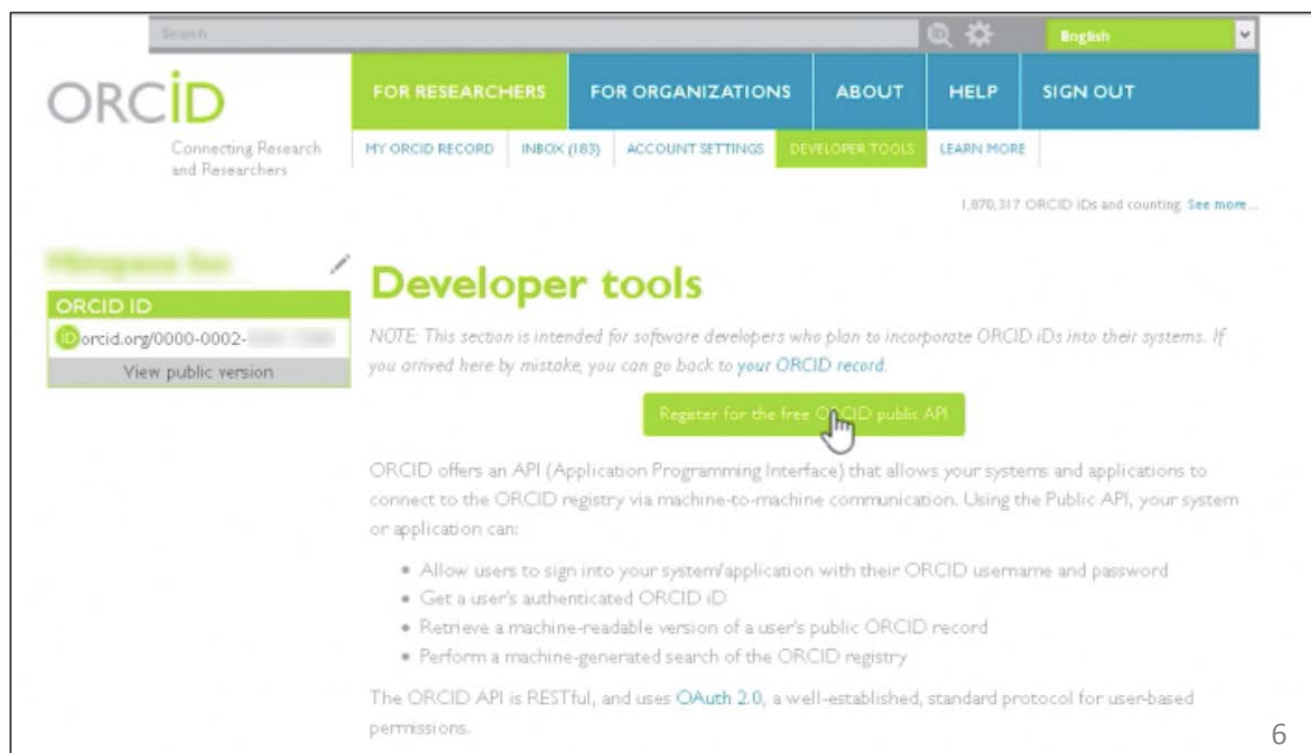
[Register for an ORCID iD](#)

Public API申請画面への移動 (1)

- ログイン後、上段メニューの中から Developer Tools を選択してクリック

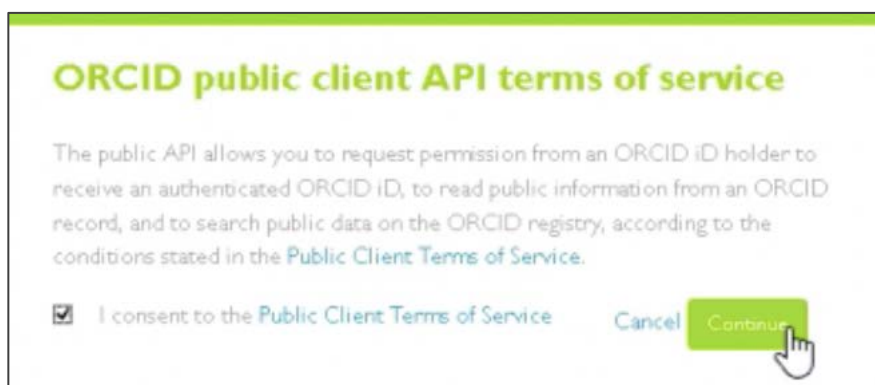


- Developer tools 画面より、Register for the free ORCID Public API と書かれたボタンをクリック

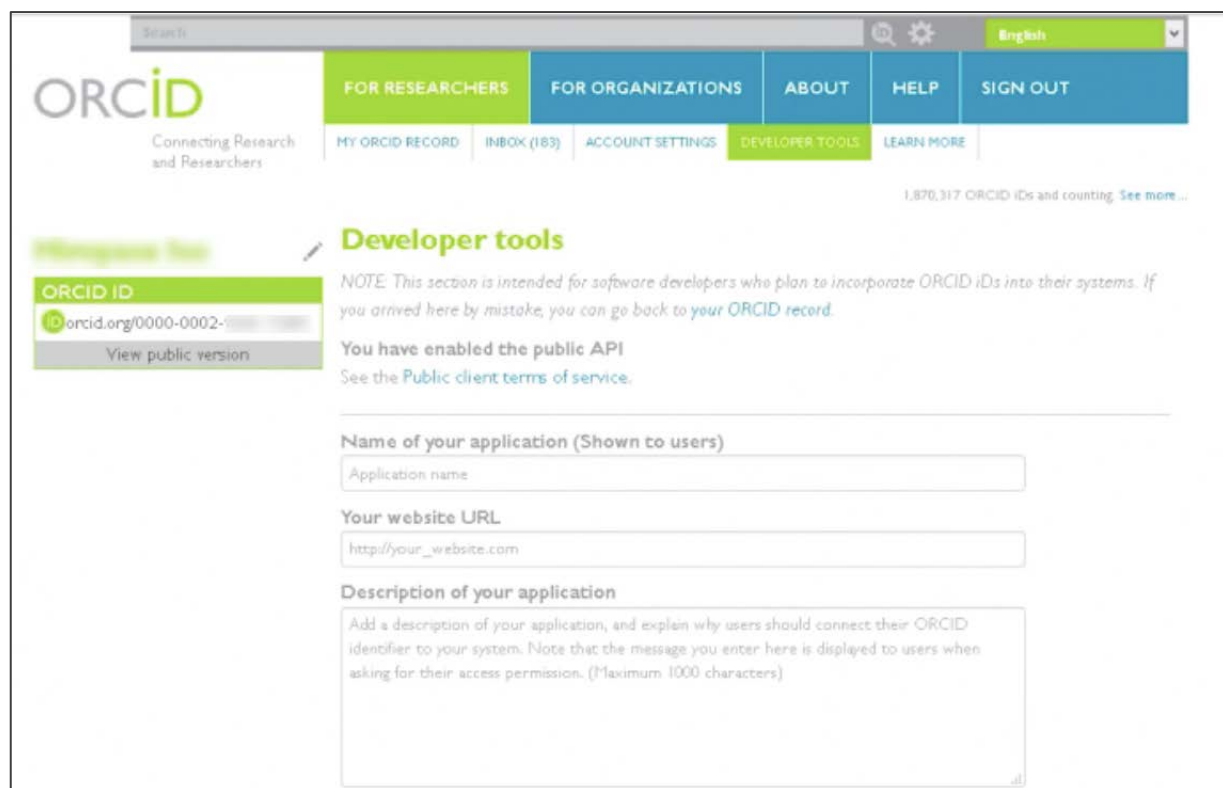


Public API申請画面への移動 (2)

- 利用規約に同意を促すウィンドウが開くので、チェックボックスにチェックを入れてから Continue ボタンをクリック



- Public APIの申請フォームが表示されます。
 - 各項目への記入事項については、次頁以降をご覧ください。



Public API申請フォームの記入 (1)

- Name of Application には、ORCID Public APIを利用するジャーナル名を記入してください。

Name of your application (Shown to users)

Journal of [redacted]

- (Shown to Users)とあるのは、ここで入力した名前が、研究者にORCIDの提示を求める際に開くウィンドウに表示される、という意味です。例えば、右のような画面です。
- 複数のジャーナルをもつ学会の場合、ジャーナル名ではなく学会名を記入することもできます。この場合、同じAPIを複数のジャーナルで利用することができます。
- 和文誌の場合は日本語での入力も可能です。



- 次に、Your website URL にジャーナル（もしくは学会）のウェブサイトのURLを記入してください。

Your website URL

http://[redacted]/journal/index.html

- 日本以外からの投稿者にも配慮して英語ページのURLの入力をお勧めします。

Public API申請フォームの記入（2）

- Description of your application には、ORCIDをどのような目的で利用するのか、簡潔にお書きください。（1,000文字まで）



- 著者のORCID識別子を取得し、出版時にCrossRef経由でORCIDレコードに出版データを反映しているジャーナルの場合、以下のサンプル文をご利用ください：
The Journal of XXX allows authors to include their ORCID iDs in their manuscript submission. If the manuscript is accepted and published, the Journal of XXX will add the publication information to authors' ORCID records automatically.

- Redirect URIは、ユーザーがORCIDへのログインを完了した後に表示される画面を指定するものです。



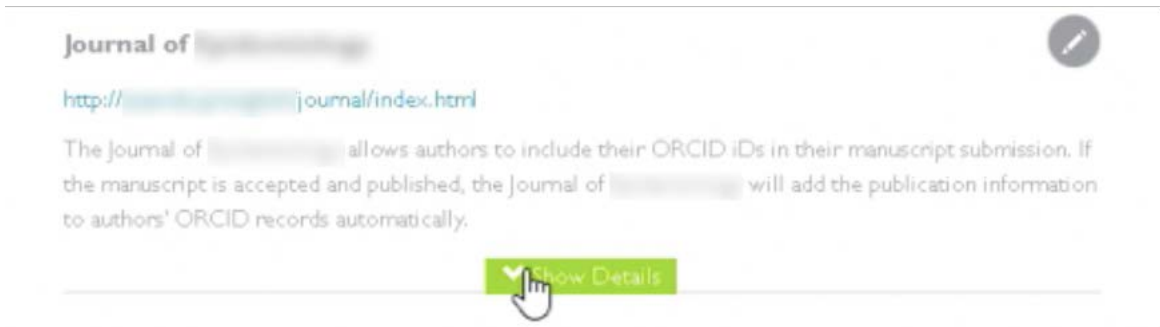
- ドメイン名まで指定しておけば、具体的なページURLまでは必要とされません。
- S1Mでご利用中のサーバー名（https://mc.manuscriptcentral.comなど）を必ず入力してください。ご不明な場合は弊社までお問い合わせください。
- S1M以外でも（学会ホームページなどで）ORCID Public APIをご利用になる場合には、そちらのドメイン名も入力してください。Add another redirect URIをクリックして、行を追加することができます。

- すべての入力が済んだら、フォーム右下のボタンをクリックして保存します。



申請事項の確認

- 登録したジャーナル名、URL、Descriptionなどが正しく表示されているかご確認ください。




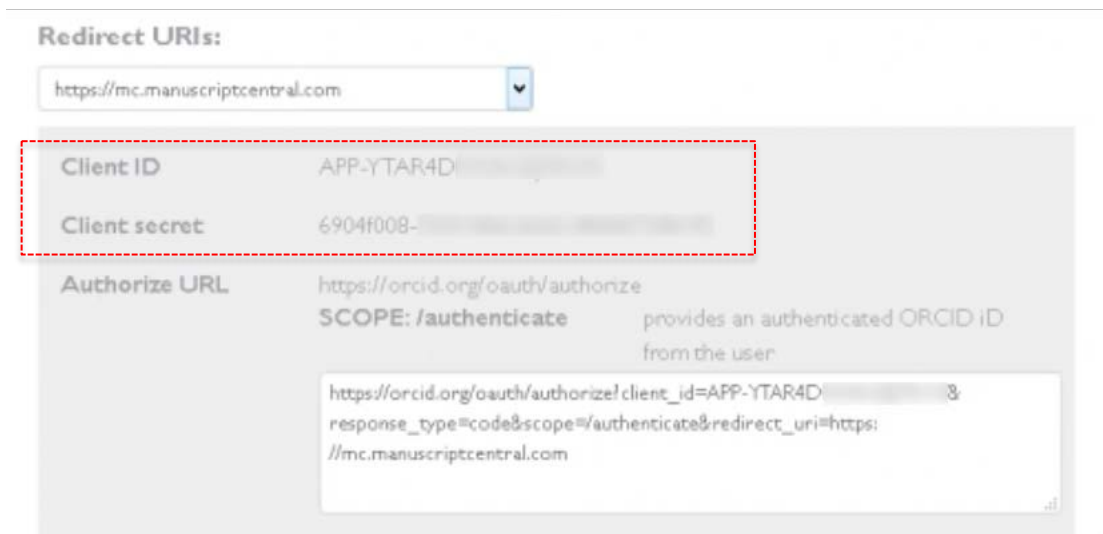
Journal of [redacted]

[http://\[redacted\]journal/index.html](http://[redacted]journal/index.html)

The Journal of [redacted] allows authors to include their ORCID iDs in their manuscript submission. If the manuscript is accepted and published, the Journal of [redacted] will add the publication information to authors' ORCID records automatically.

[Show Details](#)

- 再度編集が必要な場合は、右上の  マークをクリックして前画面に戻ることができます。
- Show Details をクリックすると、以下のように詳細が表示されます。



Redirect URIs:

<https://mc.manuscriptcentral.com>

Client ID: APP-YTAR4D[redacted]

Client secret: 6904f008-[redacted]

Authorize URL: <https://orcid.org/oauth/authorize>
SCOPE: /authenticate provides an authenticated ORCID iD from the user

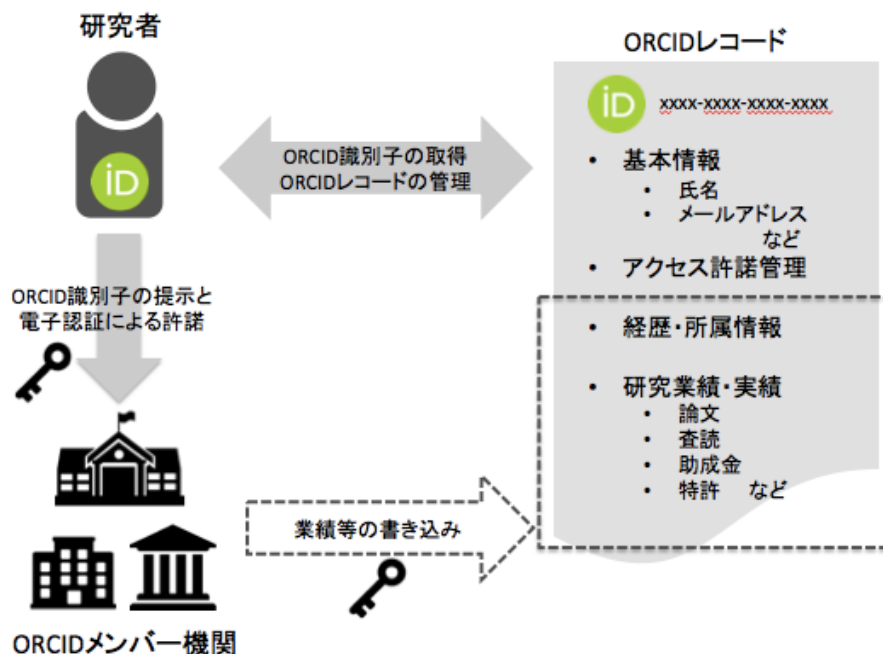
[https://orcid.org/oauth/authorize?client_id=APP-YTAR4D\[redacted\]&response_type=code&scope=/authenticate&redirect_uri=https://mc.manuscriptcentral.com](https://orcid.org/oauth/authorize?client_id=APP-YTAR4D[redacted]&response_type=code&scope=/authenticate&redirect_uri=https://mc.manuscriptcentral.com)

- ここで表示される **Client ID** および **Client secret** を、電子メールにて s1-support@kyorin.co.jp までお知らせください。弊社にて貴誌 S1Mサイトに登録させていただきます。



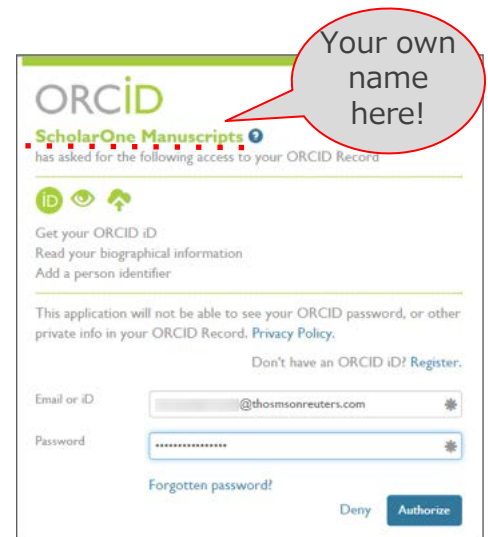
- ORCIDとはなんですか。
 - ORCIDは **Open Researcher & Contributor ID** の略称です。世界中の研究者に一意の識別子を与えることを目的とした国際的・学際的な非営利団体で、2012年10月よりサービスを開始しました。2016年1月現在で190万人分以上の識別子が発行され、200を超えるシステムがAPIを用いてORCIDレジストリと連携しています。
 - ORCID識別子は国や企業、サービスの垣根を越えて利用できるオープンな識別子です。研究者自身が登録内容の管理を行います。
 - 研究者は原稿投稿や助成金の申請など、様々な場面でORCID識別子を提示します。提示を受けた機関はORCIDレジストリ上の情報を使って名寄せを行うことができます。

ORCIDの活用事例



よくある問い合わせ（2）

- S1MサイトとORCIDを連携させるメリットは何ですか？
 - ORCID識別子はS1Mのアカウント情報の一つとして保存されます。研究者自身が電子許諾を与えた一意の識別子を登録することで、名寄せ問題の解消に繋がります。なお研究者がジャーナルに対して与えた電子許諾は、研究者自身がORCIDレコード内で無効にしない限り、20年にわたって有効です。
 - 投稿原稿が受理されたのち、出版メタデータ（XML）にこれらのORCID識別子を含めることにより、各出版プラットフォーム（J-STAGE、PMCなど）上で著者名とともにORCID識別子が表示されるようになります。
 - また、ORCID IDを含む書誌情報がCrossRefに送られると、業績として著者のORCIDレコードへ自動的に追加されます。
- すでにS1M上でORCIDの運用を開始しているジャーナルであっても、この手続きが新たに必要なのはなぜですか？
 - これまではトムソン・ロイターが会費を支払うORCID Member APIを使って、各S1MサイトとのORCID連携を実現していましたが、本来、著者によるORCID識別子の使用許諾はS1Mではなく、各ジャーナルに対して行われるべきものです。
 - S1Mバージョン4.18より、各ジャーナル、あるいは学会ごとに、それぞれORCIDより取得していただいたAPI認証を用いての運用が可能となりました。
 - 継続してORCIDの運用を希望されるジャーナルについては、本ガイドでご案内している ORCID Public APIを申請・取得していただければ、これまでどおりの運用が可能です。2016年5月31日までに申請を行い、弊社までご連絡ください。



よくある問い合わせ（3）

- 「Credential」とはなんですか？
 - Credentialはシステム間を繋げるアクセスキーです。Client ID および Client secret のセットからなり、ORCIDレジストリを利用する権利は Credential単位で管理されます。
 - Public APIのCredentialは個人のアカウントに対して付与されますため、ご担当が変わった場合は新たなCredentialを取得し、登録する必要があります。
 - なおCredentialを変更すると、それまでに行われていた電子許諾はクリアされてしまうとのことですのでご注意ください。
- Public APIとMember APIにはどのような違いがありますか？
 - 最も大きな違いとしてPublic APIのCredentialはORCID 識別子を持つ個人に付与されるのに対し、Member APIはORCIDメンバー機関となった組織に対して付与されます。
 - Public APIを使用した場合、S1Mからは ORCIDレジストリ上で“公開” 設定された情報を参照出来るのに対し、Member APIを利用した場合はこれに加えて“ORCID メンバー機関にのみ公開”設定された情報の参照や書き込みが可能になります。
 - Member APIを利用した場合、S1Mでは次の機能が使用できるようになる予定です。
 - ORCIDメンバー機関にのみ限定公開”されている情報の参照
 - 査読履歴などを実績としてORCIDレジストリに登録
 - ORCIDレジストリに登録されている個人情報の更新
- 当面はPublic APIを利用し、いずれMember APIへ切り替えることは可能ですか？
 - 切り替えは可能ですが、Credentialを切り替えることになるため、ユーザーは再度電子許諾を行う必要があります。そのため将来的にORCIDレジストリを学会として利用する予定がある場合は、なるべく早めにMember APIをご使用されることをおすすめ致します。